

## 武奈ヶ岳遭難(2012年3月)

積雪期に単独での遭難。武奈ヶ岳の経験はあまりなく、登山届は未提出。周回コースで坊村へ戻ろうとし奥の深谷へ下る。大橋小屋を過ぎ、渡渉ポイントは渡渉せず、沢右岸の通称「男道」(登山地図にある登山道は左岸、通称「女道」)を進み道迷い、時間切れビバーク。翌日、奥の深谷十九滝上の尾根に自力であり、電波が入り連絡が取れた。午後4時過ぎヘリでピックアップ、無事救助。



## 解説

登山計画は未提出のため、中峠～ワサビ峠経由で同ルート下降の計画は推測である。奥の深谷を計画したならば、奥の深谷十九滝があるため沢沿いには下れず、渡渉ポイントは事前に把握しなければならない。

さて、武奈ヶ岳からコヤマノ岳を経由し、そのまま直進し(前日遭難の4人のトレースがあった?)奥の深谷に下ったのではないかと推測される。「どこを歩いたわかっていない。」とのことなので、地図をほとんど見ずに(トレース沿いに)、歩いていったと思われる。

武奈ヶ岳周辺は非常に道迷いの多い地域である。また、「単独、積雪期、山域に経験が少ない」となれば、地図とコンパスを使って慎重に行きたい。又は、地図とコンパスに自信がなければ、必ず、同ルート下降を心がけたい。

ワサビ峠～武奈ヶ岳～コヤマノ岳～中峠～ワサビ峠は、周回コースなので右に右に進路をとろう。という予測を立てたい。特にコヤマノ岳からの下りでは、中峠までは、標高差130m。それ以上下ると道を間違えている恐れがある。という注意が必要だ。

遭難翌日の救出の日は、吹雪。びわ湖バレーが休業したほどの強風で、ヘリを飛ばすには非常に危険な状態だったが、風が収まる合間を見計らってこまめにヘリを飛ばし、なんとか救助ができた。